



# がんがんで困ったときには 相談できる場所がある！

がんによる困りごとを相談できる窓口が「がん相談支援センター」です。医療ソーシャルワーカーや看護師などに相談しながら、自分なりのゴールに向けて解決策と一緒に考えていくことができます。

医療  
ソーシャルワーカー  
宮田佳代子



医療ソーシャルワーカーって？

患者や家族などからのさまざまな相談に社会福祉の立場から支援する専門家。相談内容によって必要な支援制度を紹介したり、他の専門家との間に立って調整することで、ご本人とともに問題の解決をめざす。

## 自己決定を支える がん相談支援センター

「がん相談支援センター」は、全国のがん診療連携拠点病院に設置されている「がんの相談窓口」です。がんによって引き起こされる困りごとや、心配ごとの相談にお応えして

います。

どのような方でも社会の中でそれぞれの役割を果たしています。がんになることで、それまでの役割や周囲の人との関係が変化するかもしれませんが、そのときに、ご本人の「こうしていきたい」という「ゴール像」を見据えて、途中にある問題をご自身で解決できるようにお手伝いをす

## こんなときに ご相談ください

これからかかる  
医療費や  
生活費が  
心配

どんな  
支援制度が  
あるか  
知りたい

休職や  
復職など、  
仕事のことで  
悩んでいる

家族が  
がんと  
診断された

医師の  
説明が  
よくわからないので  
整理したい

などなど、どんな困りごとでも  
相談できます！

がん相談支援センターを探すには…

がん情報サービスのWEBサイトから、全国にある窓口の情報が調べられます。また、電話でセンターが設置されている近隣のがん診療連携拠点病院を探すことができます。

WEB ▶

電話 ▶ **0570-02-3410**

受付時間：平日10時～15時(土日・祝日を除く)

※設置されている医療機関によって「患者相談室」など名称が異なることがあります。



るのが、がん相談支援センターの仕事です。ご本人が選択肢を自己決定できるように、使える支援制度をお調べしたり、必要に応じて法律や栄養、介護などの専門家を紹介していきます。

ただ、設置されている医療機関によって受付時間も異なりますので、先にWEBサイトや電話で確認してから出向いたほうが確実です。なお、国立がん研究センター中央病院では、電話などで事前に予約をしていただいた場合は、相談時間を確保するようにしています。

## 事前に相談内容を 整理しなくても大丈夫

「相談いただけるのは、がんを診断された方だけに限りません。診断前の方、患者さんご家族、友人、職場の同僚といった方からのご相談もお受けできます。また、その病院

## 一緒に解決策を考えます 困ったときに相談を

センターには支援制度などの情報が集まっており、さまざまな状況に対応できるようにパンフレットもたくさん種類をご用意しています。相談を受けながら問題の解決に向けて一緒に考えていきますので、問題解決のヒントを探すためにも、困ったときにはぜひご相談ください。

「がんで困ったときには相談できる場所がある」ということを知っておいていただければと思います。

## あなたの問題を 一緒に考えてくれる 味方がいます

監修／国立がん研究センター  
がん対策情報センター  
がんサバイバーシップ支援研究部長

## 高橋 都

がん相談支援センターの存在は、まだそれほど一般には知られていないようです。がんで困ったとき、患者さんやそのご家族を中心に、問題解決の最初の一歩として相談できる「がんのよろず相談窓口」ですから、ぜひその存在を覚えておいていただければと思います。

相談にあたっては、より短時間で適切な解決策にたどりつくために、あらかじめ自分の問題を整理しておくにこしたことはありません。しかし、がんは直面して混乱している状況で、そこまでのエネルギーが出ないときもあるでしょう。そのときには相談することを通じて、少しずつ自分の考えを整理することもできます。

がん相談支援センターには、あなたの問題を一緒に考えてくれる味方がいます。信頼できる情報も山ほど集まっています。困ったときには一人で悩まずに、そのサポートを活用してみればいかがですか。

<http://www.cancer-work.jp>